◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇
いわて マナビィ マガジン
No.223 （令和３年度第８号） 2021.7.30
◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

「誰もが」共に学び、生きるために！
～障がい者の生涯学習の推進～

当センターの機能の３本柱は、「学習情報提供・学習相談」「調査・研究」「指導者の養成・研修」ですが、今回はその内「研究」について少々紹介させていただきます。

現在、当センターでは、次の２つの研究に取り組んでいます。
①「障がい者の生涯学習推進のあり方」（２年次／２年研究）
②「社会教育における ICT 活用のあり方」（１年次／２年研究）

各都道府県が設置する生涯学習推進センターにおいて、このように２本の研究に取り組んでいるのは大変珍しく、県内市町村と連携し、調査等を行いながら実践的な研究を展開し、本県における現状や課題、方向性等を明らかにしています。
本年度も、関係者の皆様に役立つ実践的研究を行い、年が明けた２月３日（木）、４日（金）の両日に開催する「岩手県生涯学習推進研究発表会」の場で発表します！

さて、研究を行っている「障がい者の生涯学習」について、もう少し説明させていただきます。
「だれでも」「いつでも」「どこでも」学ぶことができることが生涯学習の基本ですが、「障がい者の生涯学習」という視点で見た場合、特に学校卒業後にその推進が十分に図られていない状況があり、現在、国の施策の方向性としても重視されているところです。
県では、「生涯学習文化財課」が総合窓口となって、「学校教育室」「保健体育課」「文化振興課」「スポーツ振興課」「障がい保健福祉課」にそれぞれ障がい者学習支援担当者を置いています。(各市町村にも支援担当の窓口があります。)

当センターでは、本年度、「『誰もが』共に学び、生きるための『障がい』理解」をテーマに、「人づくり・地域づくり関係職員等研修講座」を各教育事務所管内（６か所）で開催しています。各市町村・ＮＰＯ・団体等と連携しながら、実際に障がい者学習支援の現場で活動する皆様からの事例発表や障がいのある・なしにかかわらず一緒に取り組めるスポーツであるボッチャの体験等の研修を行っています。

☆☆☆　生涯学習ミニ講座⑨　☆☆☆

「障がい者の生涯学習」推進の方向性
～「誰もが」共に学び、生きるために！～
＜国の動向＞
・平成２６年「障害者権利条約」批准
→第２４条「生涯学習の機会の確保」
・平成２８年　「障害者差別解消法」の施行
→国・自治体における合理的配慮の義務化
・平成２９年４月、大臣メッセージ
「特別支援教育の生涯学習化に向けて」を発出
・平成２９年度、生涯学習政策局（現　総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課）に「障害者学習支援推進室」を新設

＜現状と課題＞
・障がい者の学校卒業後の状況（特別支援学校卒業生約２万人）
特別支援学校から高等教育機関への進学率は約４％、ほとんどの障がい者が就職又は障害福祉サービス（就労移行支援・就労継続支援）などに進む。
（就職：30.1%、障害福祉サービス：60.3%〔計：90.4%〕）

・障がい者本人の意識、ニーズ
（※平成３０年度 障がい者本人の意識等調査の結果より）
「一緒に学習する友人，仲間がいない」→71.7%
「学ぼうとする障がい者に対する社会の理解がない」→66.3%
「知りたいことを学ぶための場や学習プログラムが身近にない」
→67.2%

＜有識者会議最終報告＞
※「障害者の生涯学習の推進方策について　～誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を目指して～（報告）」より

「学校卒業後の障がい者が学ぶ場が十分でない！！」
〇目指す方向性
→誰もが、障がいの有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会の実現
→障がい者の主体的な学びの重視、個性や得意分野を生かした社会参加の実現

〇取り組むべき施策
→国、地方公共団体、特別支援学校、大学、民間団体が役割分担し、多様な学びの場づくりを推進
→教育、福祉、労働等の分野の取組と連携の強化が重要

＜「障がい者の生涯学習」を支える実践の多様性＞
※神戸大学・津田英二教授による整理

○公民館等における実践
・障がい者青年学級など障がい者を主な対象とする事業
・一般の学級・講座等への障がい者の参加（合理的配慮）
・社会教育関係団体やサークルへの障がい者の参加

○その他の社会教育施設における実践
・博物館における合理的配慮
・図書館における合理的配慮、点字図書等の提供
・障がい者スポーツセンターの設置
・体育施設における合理的配慮、アダプテッド・スポーツ推進

○学校に関連する実践
・特別支援学校等の同窓会活動
・大学の公開講座等への障がい者の参加（合理的配慮）
・大学等におけるオープンカレッジ、障がい者対象の公開講座等
・継続教育を実施する高等教育機関における障がい者の受入

○社会福祉に関連する実践
・障がい者支援事業所における文化芸術活動、
・スポーツ活動、学習活動
・自立生活センター等における自立生活プログラム
・学習活動の参加に不可欠な障がい者福祉サービスの提供
・社会福祉協議会の福祉教育活動等

○就労支援に関連する実践
・就労支援施設における作業としてのアート活動
・一般就労をする障がい者の生きがいづくりのプログラム

○その他の実践
・親の会や家族会などによる学習活動
・障がい当事者グループの学習活動
・NPOなどによる文化芸術活動、スポーツ活動、学習活動
・営利事業としての障がい者対象の教室等
・民間の学習機会への障がい者の参加（合理的配慮）
・医療機関における学習活動、学習支援活動

★――――――

当センターの研修会の開催要項は、随時掲載中です。
また、本年度開催予定の全ての研修会の要項（案）を掲載していますのでぜひご覧ください。
なお、「コミュニケーションスキルアップ研修講座（8/4)」と「学校と地域の連携・協働研修会（8/6)」は、定員を超える申し込みをいただき、ありがとうございます。会場の調整やサテライト会場の設置を行い、申し込みいただいた全ての皆様が参加できることとしております！

【研修会等実施予定】
８月２０日（金）　「人づくり・地域づくり関係職員等研修講座（盛岡）
　２５日（水）　「子育て支援活動交流研修会」
　３１日（火）～「放課後児童支援員認定研修（センター会場２班)」
９月　３日（金）　放課後子ども総合プラン指導者合同研修会②
　７日（火）～「放課後児童支援員認定研修（盛岡会場)」
　１４日（火）　「センター・公民館・主管課職員等セミナー」
　１７日（金）　地域安全防災研修会
（※申し訳ありませんが、既に申し込みを締め切っているものもあります。）

開催要項・実施報告書は、当センターのＨＰ「まなびネットいわて」でご覧ください。（中段の「新着情報」または上段の「事業計画・研修講座要項」内に掲載中）
↓↓↓↓↓
http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/

【生涯学習電話相談「マナビィコール」】
研修会・講師情報等のお問い合わせ等は下記までお気軽にどうぞ！
当所で行っている「学び」全般の相談ダイヤルです。
↓↓↓↓↓
http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/soudanshien/manabiikoru.html

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||
▸ご意見・ご感想、登録・登録解除等は下記アドレスまで
⇒　E-mail；mag-manabee@pref.iwate.jp

▸生涯学習・社会教育関連情報は当センターＨＰから
⇒　http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/

▸Facebook・Twitter でも各種情報配信中

||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||||iwatemanabeemagazine||||||
発　行：岩手県立生涯学習推進センター　（花巻市北湯口 2-82-13）
編　集：菊池　一洋